

社高校72回生進路だより Try! 72回生の挑戦!

10月号～学習習慣を振り返ってみよう～

夏休みが明け、あっという間に1か月が経ちました。9月は学校行事で忙しく、あまり学習できなかったという人も多いのではないのでしょうか。

1年生の秋は成績が大きく変動する時期です。今回は、これから学習していくうえで気をつけてほしいポイントと、**文理選択**についてまとめています。これらを参考に、もう一度自分の学習習慣について振り返り、今後の学習計画を立てていきましょう。

学習習慣を振り返ってみよう

成績上昇者の特徴

成績下降者の特徴

国語

- 試験後は間違いを確認し、理解している
- 古典の予習では辞書などを使って全文を現代語訳している
- 古文の辞書を引く際は、1つだけでなく、他の意味や使い方も確認する

- 試験後の復習をしていない
- 予習をしていない
- 辞書を引かない

数学

- 平日・休日とも、1時間以上自主学習に取り組んでいる
- 復習と宿題は必ず行っている
- 定期試験前には章末問題や問題集で演習をし、理解を深めている

- 自主学習は、平日・休日ともほとんどしていない
- 自宅では何もしない
- 定期試験前はノートの見直ししかしていない

英語

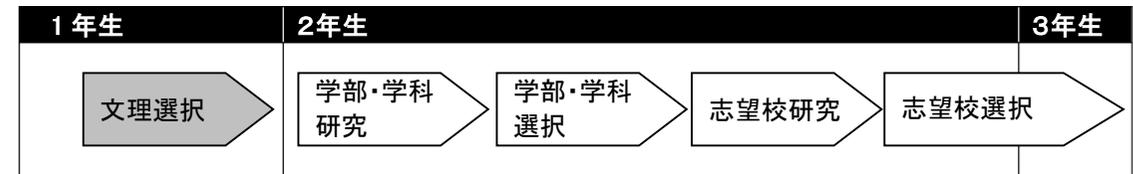
- 平日・休日とも、1時間以上自主学習に取り組んでいる
- 自主学習は予習中心に取り組んでいる
- 予習では本文の訳を考えるところまで取り組んでいる

- 自主学習は、平日・休日ともほとんどしていない
- 試験前の学習のみ行っている
- 予習をしていない

文理選択について考えよう

文理選択は、高校3年間の進路選択の第一歩です。まだ迷っている人は、自分をもっと勉強したいと思う教科や興味・関心のあることから考えてみましょう。文理をすでに決めている人も、進路研究をさらに深め、後悔しない選択を行えるようにしましょう。納得した進路選択ができるよう、十分な研究のうえ、周囲と相談しながら考えていきましょう。

■高校での進路選択の流れ



■文系・理系について



●文系

資料や情報を収集し、自分の言葉でまとめる力が要求されます。国内外の文献を読みこなす国語力・語学力だけでなく、専門分野の知識を深め、社会の動きに敏感になることが大切です。また経済学・心理学等では、統計を用いるために数学も必要です。他の学問でも、数学的な考えは論理立てて思考するために役立ちます。

●理系

問題に対して、仮説を立て検証する力が要求されます。自然科学の事象を理解するための理科学的な知識、実験データを正確に把握・分析するための数学力が求められます。また論文やレポートを書く機会も多いので、そのための表現力や文献を読みこなすための国語力・語学力も求められます。

■文理選択についての決定状況

(単位: %)

回答	成績◎	成績▲
文系に決定	21.4	33.6
理系に決定	48.1	10.4
文系に一応決めているが迷っている	9.1	10.4
理系に一応決めているが迷っている	14.0	6.7
考えているが決定できていない	6.3	14.6
まだまったく考えていない	0.2	14.2

表を見ると、成績がよかった人では、約7割がすでに文理を決定しているのに対し、成績がよくなかった人では、1割以上が「考えているが決定できていない」と答えています。また、この時期には、文理選択についてまだまったく考えていない人が少なからずいるようです。目標が決まれば学習への意欲も高まるはずです。未決定の人はよく考えてみましょう。

データは、2016年度スタディーサポート1年生第2回全国集計結果より。「成績◎」はG T Z (学力): S 1 ~ S 3 (難関大合格レベル)、「成績▲」はD 1 ~ D 3 (基礎・基本養成レベル)の生徒の平均回答率。 ※「G T Z (学力)」は、学力の到達度をS 1 ~ D 3の15段階の大学群で表示したものです。 ※注目していただきたい点に網掛けをしています。